



2026年3月3日(火)

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆1月の税収4.6%増 賃上げ・株高で所得税好調、年収の壁上げを補う

・財務省は1月の国の一般会計税収が前年同月比4.6%増の8兆2681億円だったと発表。このうち所得税は4兆8279億円と5.7%増えた。賃上げや株高の効果で所得が上向いた。所得税がかかり始める「年収の壁」の引き上げによる減収効果を補った。賃上げで給与と所得が伸びたほか、株高により株式の配当や売却に伴う所得も拡大した。

◆日経平均終値793円安 イラン攻撃で売り先行、気になる銀行株安

・2日の東京株式市場で日経平均株価は反落し、前週末比793円(1.35%)安の5万8057円で終えた。米国とイスラエルによるイラン攻撃を受けたリスク回避の売りが先行して朝方に一時1500円を超える下げとなった。中東情勢だけでなく、金融や人工知能(AI)を巡る投資家の不安が根強いことも見逃せない。気になるのは銀行株安。

◆25年度の実質成長率は0.8%、26年度は1.0% NEEDS予測

・日本経済新聞社の経済・金融データサービス「NEEDS」の日本経済モデルに、内閣府が2月16日に公表した2025年10～12月期のGDP速報値を織り込んだ予測によると、25年度の実質成長率は0.8%、26年度は1.0%の見通し。26年1～3月期以降、個人消費や設備投資は上向き、日本経済は内需を中心とした安定したプラス成長を続ける見通し。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆AIで工場の省エネ実現へ、経産省が初の手引 導入を最大半額補助

・経済産業省は人工知能(AI)を使って工場などの省エネルギーを実現する手引を初めて策定する。効率の高い設備に更新する形での省エネが限界をむかえつつあり、AIやソフトウェアを活用した効率改善などを促す。システム導入の費用を最大で半額補助する。AIやデジタルを使った省エネ計画の策定や先行事例の手引を近く公表する。

◆パナHD「ペロブスカイト」普及へ実証開始、発電効率の規格作りも

・パナソニックホールディングス(HD)が、ペロブスカイト太陽電池の普及へ向けて相次ぎ布石を打つ。ガラス一体型製品の新たな実証実験を始めるほか、AGCなどと協力してビルへの導入を促す規格作りにも取り組む。2030年ごろの量産に向けて地ならしを進める。

◆日本の原油、備蓄254日分 ホルムズ海峡封鎖が長期なら放出も

・米国とイスラエルによるイランへの攻撃を受け、エネルギー輸送の要衝であるホルムズ海峡が事実上封鎖された。日本は原油輸入の9割を中東に依存している。輸送の停滞が長引けば、国内の安定供給に向けて、254日分ある石油備蓄が放出される可能性がある。

《 注目商品 》

■ノーリツ、屋内設置形の高効率50号業務用ガス給湯器

・業界初となる屋内設置形の高効率50号業務用ガス給湯器(エコジョーズ)「GQ-C5052WZD-F」を9月1日より発売。給湯能力16号、24号、50号のラインアップで高効率ガス給湯器を屋内・屋外ともに設置することが可能に。また、最大24台(合計1,200号)まで連結が可能。



■ジャニス工業、洗面器のパターンオーダーを開始

・洗面器・手洗器のパターンオーダーの新ブランド「irodori(いろどり)」を開始。サイズは対応範囲内であれば自由に指定することができ、色は基本色ホワイトに加え、10種類の受注色、特注色も可能。小ロット国内生産による在庫リスク削減を実現。



■永大産業、4つの洗濯家事を効率化するランドリー収納

・ランドリールーム専用の収納製品「フィルフィットランドリー」を発売。洗う、乾かす(干す)、たたむ(整える)、しまうの4つの動作を1カ所に集約して洗濯家事を効率化。衣類乾燥機をカウンター下に収納して見た目をすっきりとさせつつ作業スペースも確保。

